



第44号
2012年11月
NPO法人愛の会

仙台 明石 澄

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町 17-1 TEL (FAX 兼) 022-299-1279

E-mail muginokai@k5.dion.ne.jp

http://www.muginokai-koppe.com

目次	被災地の授産製品の販売状況	飯嶋 茂…1p
	共同連大会の報告	阿部 央希…4p
	旅行に行ってきました	氏家 大介…6p
	毎日が綱渡り	後藤 祝子…7p
	お知らせ	後藤 ゆかり…8p
		…12p

被災地の授産製品の販売状況

飯嶋 茂

2011年の宮城県平均工賃は

宮城県内の就労継続支援B型の2011年度月額平均工賃が15,066円となり、前年度比3.2%の増加と過去5年で最大の伸び率となったという発表がありました。まさしく昨年において、本当に多くの方、団体の皆様から、ご注文を頂いた結果です。東日本大震災で途方にくれていた各事業所にとっては、本当にありがたいことですし、精神的にも何よりの大きな励ましでした。

今年になって

今年になってからは昨年に比べて注文量は減っています。これは仕方のないことでしょう。しかし、節目節目や各地でのイベントでの注文など、引き続き支援して下さる方たちも多くいらっしゃいます。継続して支援いただくことは非常にありがたいことです。一方、支援ということだけではなく、こちらでも卸値で商品を送り、売って頂く側にも利益が出るようにしているところは、継続的に関係が続いています。

「震災特需」に終わらせず、今後もご注文を受けるためには、互いに利益を生み出さなければいけません。各事業所はそうした魅力的な商品を作って

いく必要があります。

新しい試みも

いくつかの事業所では、ただ単に買ってもらうだけではなく、製品そのもの見直しの支援を受けている事業所もあります。そこでは既存の製品をベースにしなが、デザイン性も取り入れて、新しいブランドを作ろうとしています。製品力アップの研修も多く開催されました。それまで狭い商圏での販売しか知らなかった事業所が、多くの地域のお客さんの目に触れることによって、否応なく商品の見直しを迫られました。

地元での販売会は、今年になって増えています。みやぎセルプ協働受注センターの仲介により大手量販店や JR 仙台駅での販売会なども開催されています。昨年は中止になったイベントも再開されました。単独で参加できないイベントでは、いくつかの事業所で協力し販売スタッフを確保しているところもあります。こうした事業所同士の協力は震災以前ではあまり見られない事でした。

まだまだ支援が必要な事業所も

しかし、沿岸部の事業所では事業所の再開はできても、授産製品が順調に再開できていないところもまだまだあります。宮城県内では、震災の影響を強く受けている事業所が集まり、被災障害者就労支援事業所連絡会議も開かれ、情報交換による互いの状況把握と、それに関しての相談、アドバイスの場を設ける事で、新たな問題解決の糸口発見や協働での作業づくり等に取り組もうとしています。

今後はそういった事業所への個別の支援もより大切になってくるでしょう。こうした事業所へは引き続きご支援を頂きたいですし、事業を無事継続できている県内の事業所も、支援の手を差し伸べていくことが求められています。

今回の大震災では人を被災地へ送ることだけが支援ではなく、支援の様々な形として、買って支える、商品の製造・リニューアルを応援することも大切なことが証明されました。

その経験を皆さんと共に今後に生かしたいと思います。

*現在、仙台駅1F北側臨時販売ブース（マツモトキヨシさん、伊達の牛タンさんの向かい）にて、みやぎセルプの事業所と一緒に出店しています。各事業所のパン、クッキー、おせんべいなど販売しています。期間は12月31日まで。通る時があったら立ち寄って下さい。

*月に1回、2～3種の商品で放射能の自主検査を行っています。

測定機関 ヘルシーハットみんなをつなぐ測定室
いずれも検出限界10ベクレルで不検出です

障害者工賃にも復興特需

11年度3.2%増 過去5年で最大

11/20 河

災1年を機に少しずつ受注量が落ちていく」と明かす。

障害者の就労支援に詳しい埼玉県立大の朝日雅也教授は「震災をきっかけにできた新たな取引先の協力を得るなどして、魅力ある商品作りにさらに力を入れるべきだ」と指摘している。

県内の障害者就労支援施設の利用者に支払われる平均月額工賃が2011年度、前年度比3・2%増の1万5066円と、過去5年で最大の伸び率となった。被災地の就労施設を応援する機運が全国的に広がり、売り上げを押し上げたことが主な要因とみられている。

工賃は原則として、支援施設の売り上げに応じて支払われる。県が全134カ所の工賃を集計した結果、11年度の工賃の伸び率は07年度以降で最大だった09年度(2・5%増)を大きく上回った。

関係者によると、震災の影響で出荷量が減少するとの見方もあったが、昨年3月中旬以降、

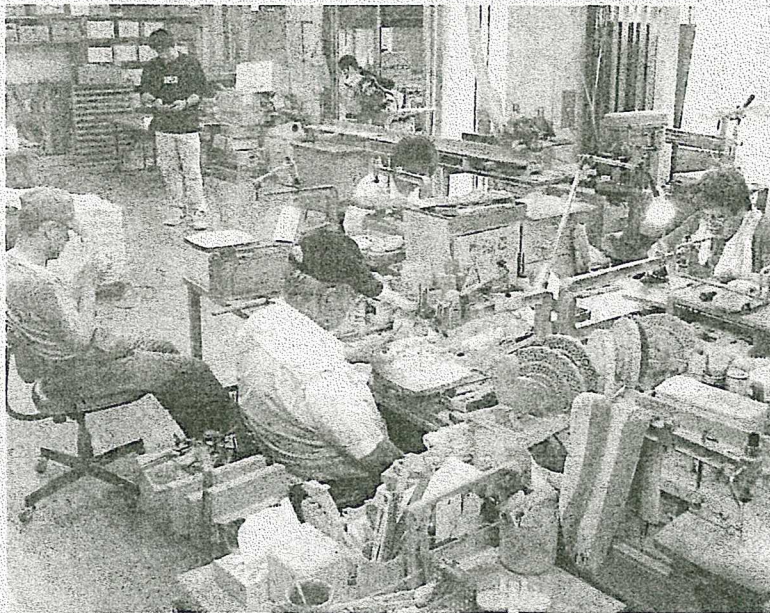
就労施設 全国から受注

全国の障害者支援団体や百貨店などからの発注が増した。

菓子の製造、販売を手掛ける仙台市宮城野区のNPO法人「麦の会コッペ」は平均工賃が前年度比1割増の約4万5000円になった。飯島代表は「震災を契機に全国に取引先ができた」と話す。太白区の通所施設「一寿園」は同4割増の約1万4000円を達成した。関西の大手販売業者などが木工品や陶器を大量に定期購入し、売り上げが伸びた。

ただ、被災地支援の動きはここところ先細り気味だ。県内の授産施設の共同受注の窓口となっているNPO法人「みやぎセーブ」の岡田昌成事務局長は「震

支援先細りに懸念も



木工品作りに励む就労支援施設の利用者＝太白区の一寿園

共同連全国大会(東京大会)

僕と金兼田君と飯山鳥さ達は共同連全国大会でした。8月31日(金)に仙台から集合して新幹線に乗って座っていました。

1. アイスクリーム食べておいいで〜す。このまま東京に着いてこのままでのりかえりはシセ袋に着いて第一イッシセ袋ホテルに着いてバックを置いてこのまま夕トへ歩いて昼はラーメン屋に行ってラーメンを食べました。おいしく食べてよかったで〜す。

^{*注1}
一糸者に立教大会まで歩きました。^{*注1}「立教大学」です。
きちんと話し聞きました。分るように言葉もよく聞きました。このあとは夜は飲み会に

行きましたここで少しいろいろと料理が
あってよかったと思います。僕と鎌田君は
おにぎりを食べました。よかったです。
そして第一インジセ袋ホテルに行って
部屋に入っのんびりしてシャワーあびで
はみかきして早くぬました。鎌田君は、いつも
阿部君と言って本当につかれました。^{※注2}
もう1人で布団の中でぬました。のんびり
よくぬた うれしいです。

※注2

本当は、鎌田くんが
いないとさびしい
あべくんです。

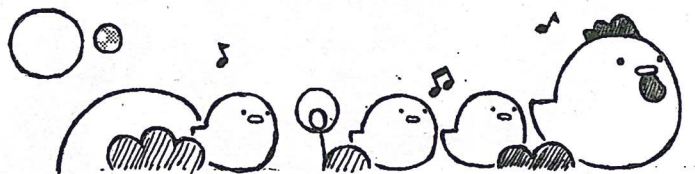
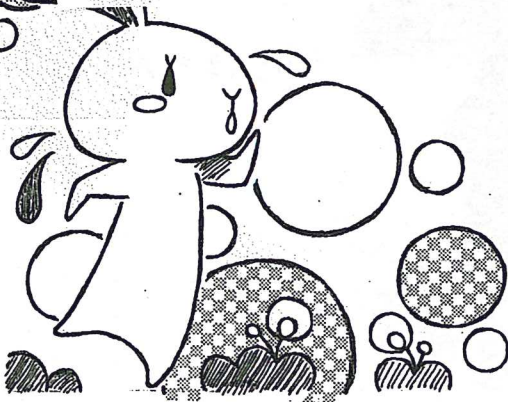


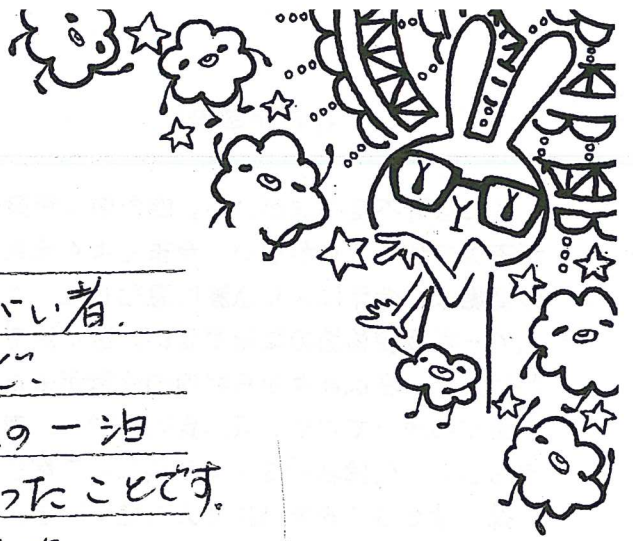
大会会場(位友大)
127.
11人の人達と。

吉田 徳 社 長 大 介

本火田にコツコツのみなさんと
 いてきました。バスにのって
 きました。湯沢温泉に
 はいってひるくであつたまりました。
 みんなでカラオケをしました。
 ほしは「ヤニース」のNEWSの
 テレビュー曲NEWSをソング
 うたいました。へちでとらひりました
 バッパぬきました。カラネタリ②
 をみました。星をみました。おみゆけを
 かりました。

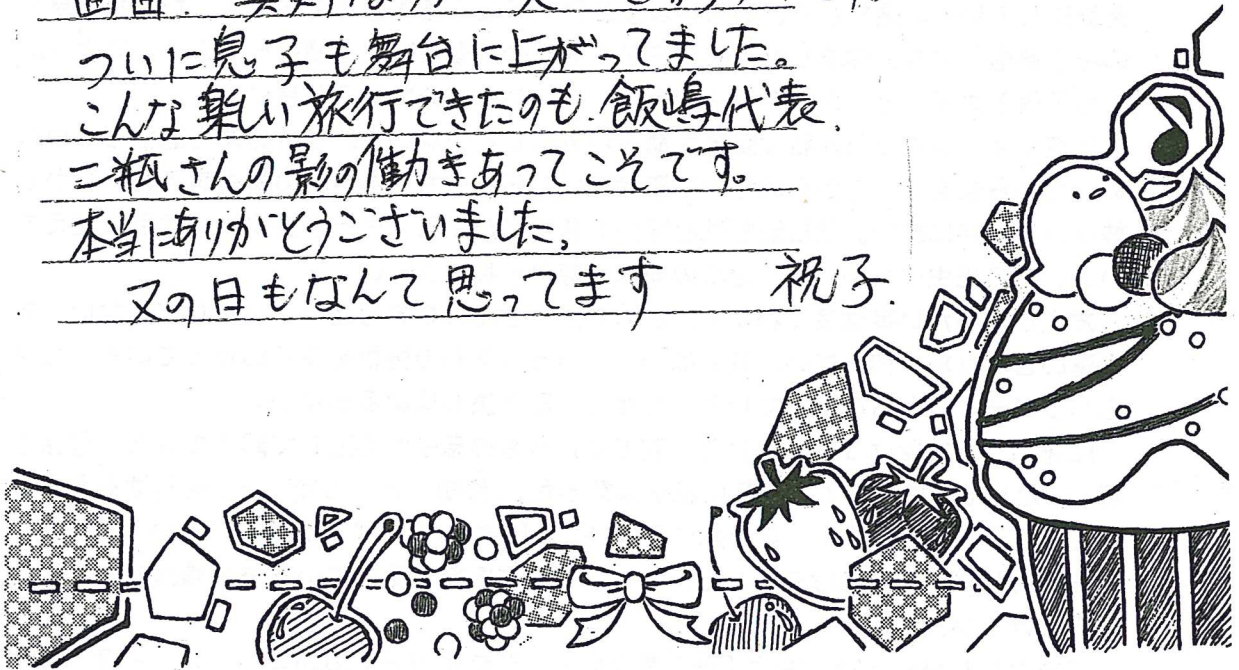
氏家 大介





我家は、夫も息子も障がい者。
3人で泊まりの旅行など、
とても無理。今日の秋田への一泊
旅行は、私の希望が叶ったことです。
迷惑かけること承知の上で
参加しました。やっぱりコッパの
パワーは、みなも一つに溶け込ま
せるものがあり、息子は問題なく
みんなについていきました。

なんといっても話は仮装、カラオケ大会。
次々と日常みられない衣装を
つけて、華やかに舞い、歌うコッパの
面面、真剣なのか笑いを誘うのです。
ついに息子も舞台上に上がりました。
こんな楽しい旅行できたのも、飯嶋代表、
三瓶さんの影の働きあってこそです。
本当にありがとうございました。
又の日もなんて思ってます 祝子。



私には腎不全の妹がいる。四年前に腎臓の異常が見つかった。原因は不明だが、腎臓が子供のサイズしかない。今までよく元気に4人も子供を産み育ててくれたと思う。妹の腎臓は、今年に入り急激に悪化した。10%しか機能していない。妹の通う病院は東北で一番腎臓移植の技術が高い。透析治療か、移植手術かどちらか選ぶよう主治医に言われた。私は前々から移植の段階が来たら、自分の腎臓を提供しようと決めていた。病気がわかって以来、沢山資料を調べ、考えぬいて決めた事だ。最近の医学の進歩は素晴らしい。勿論私の3人の子供にも了解をもらった。

妹には23才を筆頭に4人の娘がいる。世界的にもまれなケースだがRH-が3人いる。移植は難しい。提供可能な娘が1人いるが若い姪のこれから先の事を考えると私の腎臓が適任だと思った。移植の話に妹は始め遠慮していた。私は説得した。姪達にも了解をもらう。兄にも色々相談。年老いた母の介護もある。みんな元気でいてくれないと困るのだ。親戚一同協力しながら手術に向かい話しは順調に進んでいった。

6月半ば、妹と私は精密検査を受けた。結果は思いがけないものだった。妹の腎臓に白いかげが写っている。癌かもしれない。私達の父親と叔母はガンで亡くなっている。またあの日々を繰り返すのは耐え難い。妹と姪達は全てを受け入れジタバタせず、再検査を待っている。本当は心中穏やかではないはず。妹は母親似で肝っ玉が座っている。不安な顔を微塵も見せない。しかし私は鬱寸前でいた。

そんなある日、古くからの友人が私に電話をかけてきた。

友人の息子は、腎臓の病気で10年間投薬治療を受け、入退院を繰り返していた。友人は言った。「移植なんて、とんでもない。命は各自、自分で守るべきもの。自分は息子に移植は考えていない。大事な事を短期間に簡単に決めるなんて、自分の命と臓器を馬鹿にしている。透析して、いよいよ駄目になったら移植を考えるべき。だいたい自分の体を過信しすぎ。体壊したら誰が子供を守るの？優先順位も間違っている。妹より親より子供が大事。とにかく今からでも遅く無いから辞めたほうが良い。」

正直ショックだった。私は臓器も命もバカにしていないし、自分の体も過信していない。だから歳をとってからの移植は避けたいのだ。もちろん透析の事も考えた。しかし妹は血管が特に細い。透析治療は心臓にも負担がかかる。先々苦勞するのは目に見えている。妹の先生にも聞いた。透析の前に移植が一番望ましい。

友人が言いたい事は良くわかる。友人の息子さんの事を考えるといたたまれない。本人達の苦勞は計り知れない。友人はいつも突っ走る私の性格を良くわかっている。しかもバツイチ。心から心配している。しかし、私の決心はゆるがない。

腹を割った電話は30分続いた。寝ていたうちの息子が心配して起きて来た。電話を切り、泣きそうになっている私に息子は言った。「移植したいんでしょ。俺らはもう大人なんだから。適当にやるから心配いらぬ。気にすんな。」息子は小さい時から、妹達の父親代わりだった。私は安心した。しかしそばで電話を聞いていた末の娘はまともに打撃を受けていた。

移植の話が出た時、娘は「母子家庭の上に腎臓までとるのかよ…」と、一言つぶや

いた。しかしこうも言っていた。「自分がお母さんと同じ立場だったら同じ事をすると思う。」

私は、その言葉が嬉しく、最初の一言の重みに気づいていなかった。

私にはもう一人娘がいる。長女は情緒不安定性人格障害。時々落ち込んで、酒で薬を大量に飲み、記憶を無くしリストカットを繰り返していた。震災後急激に悪化した。自殺未遂や急性アルコール中毒で救急車で運ばれる事もあった。が、最近は回数も傷も少なくなってきた。だが、まだ時々傷だらけの娘を私は病院へ運んでいた。大抵は仕事中に抜け出し病院に運ぶ。コッペの同僚に負担と心配を掛けている。嫌な顔もせず、仕事のローテーションを組み替えてくれる。申し訳なく辛い。同じ職場で働く末の娘の心境は複雑だ。

毎日が綱渡り。でも、逆境は家族の絆を強くしている。そしてとてもありがたい事に、沢山の人が私達に協力的だ。

私の友人でもある長女の主治医に娘の事、移植する事など、色々相談した。先生は言った。

「移植する事は彼女にとって、良い勉強になる。今彼女は歩く練習を始めたばかり。歩くためには転ぶ事も大事。転ばないと歩けるようにならない。試練は大事です。座りこまないで、歩き出した彼女も偉い。お母さんは一人じゃないよと側にいて下さい。その事が一番の薬になります。この病気は薬や医者が治すんじゃない。家族と本人が治すんです。私はちょっとお手伝いしてるだけです。でも大丈夫。確実に良くなっています。もし入院中に切ったとしても、ちゃんとこっちで対応します。安心して手術して下さい。」

と、言われた。ありがたくて涙がでた。

もちろん、長女も長男も移植する事に賛成し、応援してくれている。しかし、末の娘は不安だったのだ。当然の反応だと思う。色々な問題が山積している。娘には、荷が重い。

娘は春から通信教育を始めたばかり。中学から引きこもりをしていた。娘にとって、大きな一歩。休みの日もスクーリングに通い休みなく一生懸命勉強している。一人で勉強する事はなかなか大変。自分の事だけでいっぱいいっぱいなのだ。親と同じ職場で働く事だけでもプレッシャーが伴う。更に健康体だけが取り柄だった母親の移植問題まで加わった。

一本の電話は娘の核心をついたのだ。

友人の言っていた優先順位が頭をよぎる。しかしお互いバツいちの妹。今まで母親の介護を妹達に任せっきりにしてきた。忙しさにまけて、私はずっと妹に甘えていた。だから今度は妹が甘える番だ。それに妹の家族は家族と同じ。家族に優先順位はつけられない。デメリットは覚悟の上の決断だった。

情緒不安定性人格障害は、完治するのに時間を要する。先延ばしにしたら、私も体と心が駄目になる。沢山の問題を抱え、さらに妹の体と母親の介護を心配しながら働き続けるのは難しい。

母は3年前に脳腫瘍を取ってから、歩くのが困難になった。最近ボケはじめた。

妹も母も子供達も、元気でいて欲しい。だからこの道を行くしか無いのだ。妹はうちの事情をよく知っていて、心配している。説得するのに苦労した。

こんな環境のなか、末の娘は毎日、ネガティブとポジティブを行ったり来たりしている。とうとう仕事を連絡も無しに休むようになった。震災後も、気持ちが落ち込んで酷い時期があった。私は正直焦った。

コッペは私の移植手術の件で、新しい人を雇い入れたばかり。財政的にも負担をかけていた。心苦しく、これ以上迷惑を掛けたくなかった。娘もその事がわかるだけに、さらなる追い討ちをかけている。働きに行く事も人の話しも聞く事が出来なくなった。あまり言っても追い詰めてしまう。難しい状況が何日が続いた。

しかしコッペのみんなは、娘の復帰を待っていてくれる。私は心強く、嬉しかった。

娘は震災前から体調が良くなかった。震災が追い討ちをかけ今回の事がとどめをさした。さすがにヤバイ。娘は行くのを渋っていた病院にもやっと通い始めた。かなり突っ込んで家族で話しをした。みんな私の無理を押し通す性格に原因があると思った。末の娘に言われた。

「もし、お母さんが末期癌で、死を宣告されても、勝手に決めないで延命治療受けさせてよね。」

私の人生は、毎日全力疾走。寝る時間も惜しんで働いた。ストレス解消のため、劇団にも通っていた。子供達には小さい頃から淋しい思いをさせてきた。家族をもっと大切にしようと反省した。

移植の件だけはわがままを通させてもらった。時間はかかったが、娘は無事仕事に復帰。飯嶋さんとも色々話しあい、パートにかえてもらう事にした。娘は時間と気持ちの余裕が出来、気晴らしに習い事を始めた。勉強も頑張っている。元気とは言えないが体調が安定してきた。

仕事復帰の朝、熱烈的な大歓迎を受けた。みんなの優しさがありがたかった。普通はクビになってもおかしくない。娘は今だに時々体調が悪くなり、仕事を休む。長女も時々、リストカットをして、病院に運ぶ。しかし症状は確実に良くなってきている。

コッペのみんなには親子共々多大なる迷惑をかけている。感謝の気持ちは言葉では伝えきれない。

妹は癌かどうか調べるため、腫瘍のある腎臓を摘出手術した。幸いな事に良性。命は繋がった。私は移植のため、10月頭に一週間検査入院をした。入院中、私と同じドナーの方と同室だった。どういった流れで手術をし、回復していくかこの目で見てきた。術後普通の仕事なら無理をしなければ影響無く復帰出来ると聞いていた。納得できた。傷も5~6センチ。内視鏡の小さな穴が3つあるだけ。術後2日目、点滴等の管が外れたら元気に歩いてトイレにも行っていた。痛みも傷も少なく、食事も美味しく食べている。安心した。

移植を控えた透析患者の方とも同室だった。私が入院中、2回透析を4時間受けていた。私はあまりの時間の長さに改めて健康の大切さを感じた。透析の針はミシ

ン針のように太い。痛く無いよう、痛み止めのテープを貼りその上から2カ所射す。何度も刺していると血管が駄目になると腕を見せてくれた。透析用の血管を作るために何度も手術を受けている。自分の血管を何本も集め、太い血管にする手術。一週間の入院が必要だ。血管は蛇のように長く腕に絡みついていた。もう針をさす血管が無い。歳を重ねると、更に体も血管も弱くなる。色々な合併症に悩まされていた。薬も沢山服用している。何もかもが痛々しかった。

私は透析の大変さを理解しているつもりでいた。しかし現実はこの目で見ると、鬼気迫るものがある。病は沢山の犠牲を強いる。激痛は体も心も容赦なく襲う。その中で幸せを見つけ、たくましくつつましく耐えながら生きぬいている。頭が下がった。

一週間の検査入院は私に色々な事を教えてくれた。

私の検査結果は出来過ぎな程良好だった。人の3倍働ける腎臓と判明。左右同じ大きさでしかも人より大きい。骨年齢と肺年齢は20代。他の臓器も素晴らしい。が…ひとつだけ脂肪肝と言われた。予想通り痩せるよう言われた。健康のため、気をつけよう。太鼓判を押された腎臓に、私はめっちゃくちゃ感謝した。健康で本当に良かった。

妹は三人前働く腎臓と聞いてこう言った。「そんな良い腎臓、子供達が悪くなった時用に取っておかなくて良いの？」私は言った。「うちらのお母さんはせっかちだから、私のお腹にあんたの腎臓間違えて置いて来たんだよ。だから一個、あんたに返すよ。」二人は笑いながら泣いた。

手術は11月13日と決まる。私はその前後一週間入院。12月には復帰できそう。妹も術後しばらく入院するが、回復しただが、お正月は一緒に過ごせそう。前のお正月は実家の近くの神社で寒空の下、みんな一緒に年を越した。星も夜景も綺麗だった。

その時は病気の兆候は全くみられなかった。だいたい健康そのものの私の体を開くなんて、青天の霹靂、寝耳にミミズ。その位びっくりする展開である。健康である事を当たり前のように生きてきた私。良い勉強になった。人間、転びながら、歩けるようになる。たしかにそう思う。年越しで引いたおみくじは大吉。いつも末吉しか引かない私は嬉しかった。探し物が見つかる、書いてあった。

職場の新入りさんは、順調に仕事を覚え、安心して手術を迎えられる。コッペのみんなは沢山のパワーをくれる。幸せな事だ。電話をよこした友人も、先日仕事先で会った時、色々体を気遣ってくれていた。みんな心配し、そして応援してくれている。ありがたくて泣けてくる。

私の素敵な腎臓は順調に私の血液をろ過し、キレイな血液とオシッコを作ってくれている。どんな宝物にもかなわない。

もうすぐ手術がまっている。まな板の太った鯉は、沢山人達に支えられながら、何があっても生きる覚悟が出来た。腹がすわった事が今回の一番の成果だと私は思っている。

たむたむたん

tamtam

10

たむたむたん
多夢多夢舎中山工房

10周年記念イベント

開催日 11/23 24 27 28 29 30 12/1

今年是多夢多夢舎がこの地に設立されて、ちょうど10年。

「たむたむらيب」の復活。そして米袋を利用したクラフトグッズの新ブランド

「tam tam dot」をもって皆さんに知ってもらうために

多夢多夢舎中山工房10周年記念イベント【tamtam10(たむたむたん)】を開催します。

楽しいらيبとおいしいご飯、そして可愛い雑貨を用意してお待ちしています。

初めての方も、おなじみさんも、みなさまどうぞお気軽に遊びに来てください。

GOODS

tam tam dot 製品展示即売会

販売日：11/23～12/1 (11/25, 26はお休み)

11:00～18:00 (最終日は16:00終了) たむたむ亭2階にて

米袋を利用した可愛いクラフトグッズを展示販売!

作り手のリズム、息づかい、一層にこもったよさが伝わりながら

「tam tam dot」のオリジナル商品です。

FOODS

食香房たむたむ亭

11:30～13:30 (ラストオーダー13:00)

身体とむたむやさしいごはん。旬の食材を使った特別ランチを

限定30食で提供いたします! (800円/席り初回水曜終了)

18:30～21:30 (18:00～20:00ラィブのため中断)

ドリンクと、おつまみセット(500円～)をご用意しております。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 多夢多夢舎中山工房

宮城県仙台市青葉区中山2丁目18-5

tel: 022-277-0081 fax: 022-277-8809

mail: tamutamusha@yahoo.co.jp

- バス：仙台駅14番のりば
- 中山道停留所、泉ビルディング
- 大蔵橋停留所、北中山7丁目行き
- 中山7丁目停留所、西中山行き
- 青葉中等教育学校、貝ヶ森1丁目行き
- 中山入口、下車、徒歩5分
- JR仙山線：「北山駅」下車、徒歩10分
- 駐車場

コッパとワケツ金いのホ子。中山工房から
地球村さんからのお知らせです。是非
足と運んでみて下さい。☺

11月15日(木)

オープン

カフェ地球村 OPEN のお知らせ

皆様、こんにちは！工房地球村です。

工房地球村への日頃のご支援に対しまして

改めて御礼申し上げます。

さて、このたび工房地球村、敷地内に

「カフェ地球村」がオープンします！

山元町が復興を目指す中、私たちの出来る事で

復興の活動に参加したいと考え、お世話になった

方々や地域の方々へのご恩返しとして「ほっ」と出来る

癒しの場を提供できたらと思い、カフェを作ることにしました。

工房地球村の仲間達の思いが詰まったカフェ地球村を

今後工房地球村共々応援させていただきますよう

どうぞよろしくお願いたします。

工房地球村 一同

オープン
OPEN!

2012年11月15日(木)オープン!

営業時間：午前10時～午後3時

休業日：日曜日・月曜日・祝日

場所：山元町共同作業所「工房地球村」敷地内

(宮城県亶理郡山元町真庭字名生東75-7)

お問い合わせ：工房地球村 ☎0223-37-0205

メニュー：コーヒー、紅茶、工房地球村のお菓子、

その他・・・お楽しみに!

